

Weekly Report

2009~2010年度



作者の言葉
我が百合丘ロータリークラブのシンボルは百合の花。花は大地に根を張り、空高く伸び、その姿を人々に示す。我々もまた、この大地に根を張り、人々に光を放つ存在でありたい。そのためには、互いに支え合い、共に成長すること。それが、我々の使命である。清純な心で、誠実に活動し、社会に貢献する。それが、我々の理想である。大友

平成22年3月2日(火)

第1527回例会

会長 田内 三和
幹事 安藤 志子
会報 関山 秀男

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ <http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

第1527回例会記録 平成22年3月2日(火) 31/45回

<点鐘>

田内会長

ご母堂様、川崎西RC 恒川氏ご逝去にともないクラブより献花、ご香典をお届けしました。

<ソング> 君が代 奉仕の理想

・康英徳君の送別会は例会とあわせて行います。記念品を親睦委員で検討します。

<お客様紹介>

田内会長

川崎RC 白井勇様

・アルテリッカしんゆりへの協賛金30,000円が承認されました。
以下、会長報告です。

<祝い事>

嶋親睦委員長

入会記念 鴨志田会員、小坂井会員、伊藤会員

中村会員(1月)

会員誕生 結城会員、玉井会員、嶋会員

大矢会員(2月)

1. 第39回神奈川県ロータリー親睦テニス会(上野杯)
4/13(火)9:30集合 湘南ローンクラブ
詳しくは事務局まで。
2. オン・ツウ・モントリオール国際大会
日本人朝食会のご案内がきております。
3. 2009年~10年「第2590地区ニュースレター」がきております。
4. 川崎しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)2010の総合プログラムへの広告掲載のお願いがきております。
5. 第26回RYLAには、桐光学園インターアクト4名、顧問教師が参加いたします。



夫人誕生 中村会員、内藤会員の奥様

<幹事報告>

安藤志子幹事

*文書着 川崎麻生RC

*追伸

・3/30(火)は定款細則により休会です。お間違えのないようにお願いします。

・アルテリッカしんゆりのチケット購入をよろしくお願いたします。

<会長報告>

田内会長

先に、理事会の報告をいたします。

・鈴木会員ご尊父様、安藤亨会員ご尊父様、結城会員

第1529回 3月16日 委員会報告 安藤登会長エレクト

第1530回 3月23日 招聘卓話

第1531回 4月6日 クラブ協議会 お花見夜会

※諸事情により、スケジュールは変更になる場合があります。

<ニコニコ委員会>

結城委員長

川崎RC 白井勇様→「いつもお世話になります。宜しくお願いします」。当クラブより 田内会長→「IMごくろうさまでした。高田会員、卓話を楽しみにしています。よろしくお願ひいたします」。安藤志子幹事→「IM参加の皆さまごくろうさまでした」。野島会員→「IMありがとうございました」。安藤亭会員→「過日葬儀には多数の会員のご参列を頂き、誠にありがとうございます。ロータリーの友情に感謝いたします」。

以下、感謝をこめてニコニコへ。会員増強委員会ネギシ炉辺会議、安藤登会員、鴨志田会員、井上勇会員、中村会員、中島健児会員、渡邊会員、鈴木会員、玉井会員、山口篤会員、碓井会員、山崎会員、佐藤会員、大矢会員、高田会員、東会員、白井会員、北島会員、井上久会員、尾崎会員、関山会員、嶋会員、中島真一会員、内藤会員、佐々木会員、小塚会員、寺尾会員、結城会員。

<出席委員会>

鴨志田委員

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第1527回	43※	35	8		81.04%
第1526回	43※	40	3	1	95.35%

*出席免除会員1

<ロータリー財団>

渡邊委員長

結城会員→「3/2誕生日で66歳になりました」。佐藤会員→「財団委員の使命として。完」。内藤会員からもいただきました。

<米山奨学>

安藤亭委員長

嶋会員→「今年で57歳になります。健康に気をつけて頑張ります」。玉井会員→「喜寿を迎えて」。大矢会員からもいただきました。

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	33件	33,000円	797件	878,000円
財団	3件	36,000円	37件	360,000円
ベネファクター	0件	0円	2件	180,000円
米山	3件	30,000円	30件	380,000円

本日のプログラム

<会員卓話>

高田会員

昭和音楽大学が新百合ヶ丘にきて3年になります。当校は昭和15年の設立で、当初は声楽の専門家の育成のためにスタートいたしました。オペラとは大変お金のかかる芸能で、舞台の人数の倍の裏方が必要だったりしますが、それだけに素晴らしいものだと言えます。オペラは16世紀から17世紀にかけてヨーロッパで始まりました。19世紀より日本の絵画はジャポニズムと称し大変ヨーロッパでもてはやされましたが、日本古来の音楽はあまり評価されなかったようです。こと音楽に関しては西洋と日本では感性が違うようです。西洋では音質をクリアにするあまり、無駄な雑音を嫌うのです。たとえば尺八ですが、一番の特徴である「むら息」。音は半分くらい楽器の外にこぼし、雑音を入れているのです。その一音一音に自分の魂をどれだけ込められるか、という感性は西洋人には理解できないようです。理想の音を求めると楽器の個性がなくなってしまう。みんなピュアな音になってしまうと、よく聞かないと何の楽器だかわからなくなってしまうからです。逆に日本では西洋音楽を上手に取り入れました。古来のものを保存しながら、新しいものは新しいものとして受け入れて追いつき、構築していく日本文化のなせるわざでしょう。たとえば雅楽などは、楽器そのものも演奏法も全くそのままの形を残しています。そんな国は他にはありません。これが中国ですと、古来の楽器を捨て去り別の形へと進化しています。古いものと新しいものが両立していくことが可能なのが日本の音楽文化といえましょう。

